



令和3年(2021年)11月10日発行

2~5...決算からみる令和2年度 of 取組成果、中期財政計画
6...児童虐待 11...総合防災訓練 13...施設ご利用ガイド
14...ひまわり、市美展受賞作品 15...12月の相談

「なばり市議会だより」は、7~10ページをご覧ください

発行/名張市 秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎ 0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉ pr@city.nabari.mie.jp



かばんや財布などにヘルプマークが...



日常生活や災害時などで困ったときに周囲に示す「ヘルプマーク」。かばんなどに付けられるストラップ型は裏面に、財布などに入れられるカード型は中面に必要な支援などが書かれています。



ヘルプマークを見かけたら...



電車・バスの中で席を譲るなどの配慮を

外見では健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けることが困難な人がいます。



商業施設や駅などで声をかけてください

立ち上がる、歩く、階段の上り下りなどの動作が困難な人や、交通機関の運行の乱れなど、突発的な出来事に対して臨機応変に対応することが困難な人がいます。



災害時は安全に避難するための介助を

視覚や聴覚に障害があるなど状況把握が難しい人や、肢体不自由な人など自力での迅速な避難が困難な人がいます。



発作や急な体調不良に対応を

ヘルプマークに、救急車を呼ぶなど必要な対応方法が書かれている場合があります。



ヘルプマークが必要な人は...

ストラップ型・カード型ともに、市役所1階 障害福祉室で配布しています。郵送希望の場合は、三重県地域福祉課(☎059-224-3349 FAX 059-224-3085)へお問い合わせください(返信用切手が必要)。

12月3日~9日は障害者週間

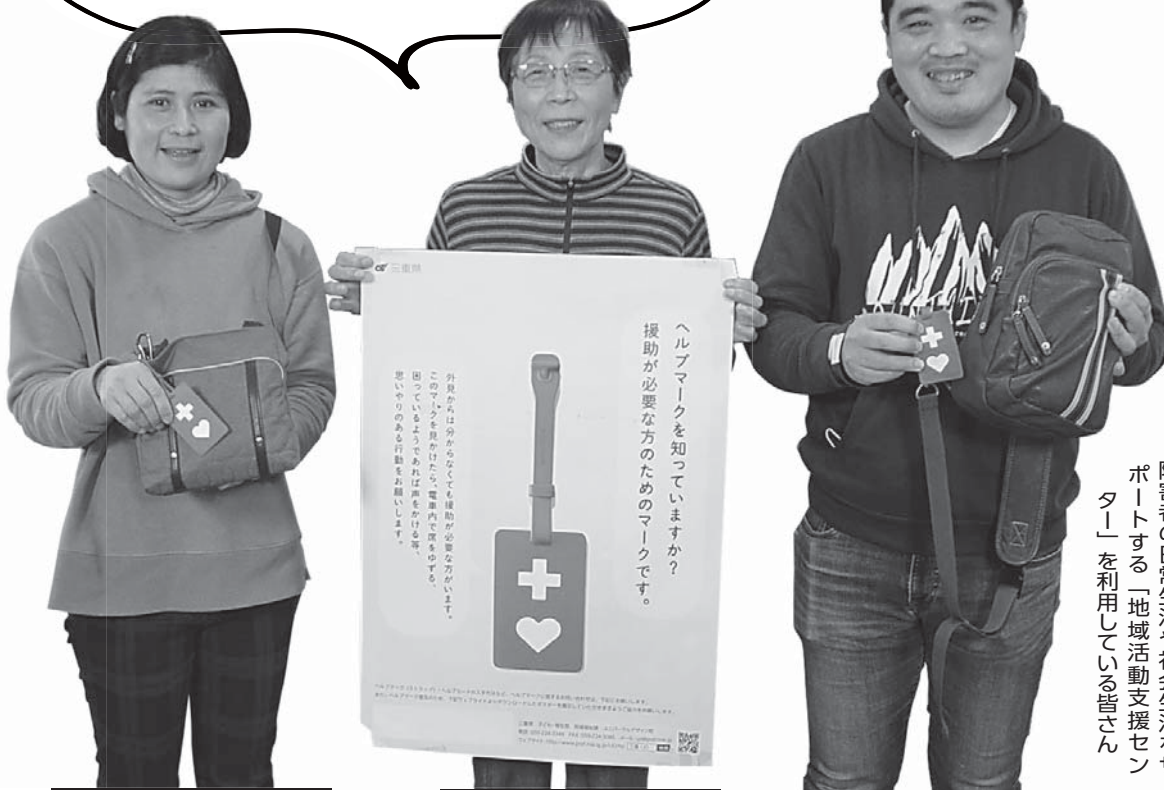
助け合いの「しるし」です。 ヘルプマーク

障害や持病があったり、妊娠していたり、義足や人工関節を使用していたりと、外見からは分からなくても、援助を必要としている人がいます。こうした人たちが、周囲に援助が必要であることを示す「ヘルプマーク」は、助け合いがスムーズに行われるための「しるし」です。このマークを見かけたら、思いやりのある行動をお願いします。

☎ 障害福祉室 ☎ 63-7591 FAX 63-4629

✉ shogai@city.nabari.mie.jp

私たちが「ヘルプマーク」を身に付けています



向井さん

治田さん

横田さん

ヘルプマークのストラップをかばんに付けて、連絡先と、救急車を呼んでほしい場合の症状を書いています。バス停でマークを身に付けた人を見つけ、共通する話題ができてうれしかったことも。ヘルプマークでいるんな人が、理解し合えるきっかけになってほしいな。

電車で、ヘルプマークを身に付けている人をよく見かけるようになってきました。持病のある人など、幅広くヘルプマークを身に付けていただくと、倒れた時など、すぐ対応してもらえるようになると思います。必要な人は、ためらわずに活用いただきたいですね。

持病があり、まちで急に倒れたらどうなるだろうか。周りの人が救急車を呼んでくれるだろうか。もしかすると、パニックになって放っておかれるかもしれない。そんな心配や不安があります。ヘルプマークを身に付けると、少し不安が軽くなります。

障害者の日常生活や社会生活をサポートする「地域活動支援センター」を利用している皆さん



ヘルプマークの普及活動などヘルプマークについて詳しくは、三重県ホームページをご覧ください。



12月3日深夜の一部時間帯(約3分間)で119番など緊急通報ができなくなります。詳しくは11ページをご覧ください。